



ボアソナード氏講義
第十七回 第十六回



414
A 4402



ホリド氏講義第十六回(九年三月廿四日)

第二(會社)の獨占權

此獨占の權理ナルモノハ一目的トスル所ノモノアリ即チ世上一般ノ便益トナル事業ヲ保護シテ堅固ナラシムルト是レナリ
一國ノ政府ハ親カラ之ヲ擔カシテ妨ケ無キトハ雖モ多クハ寧ろ之ヲ壯大ナル會社へ允准スルヲ以テ願ハレキトナリトス然リト雖モ之ヲ允准スルニハ豫メ其弊害ヲ拒クベキ嚴密ナル方法ヲ設ケザル可ラザルナリ

第一(持參人)ノ拂渡スベキ手形ヲ發行スル特權ヲ持ツ所ナリ

銀行ノ獨占權ヨリ説キ始メシ○此銀行ノ獨占權ナルモノハ銀行ヲシテ大ニ其事務ヲ發達セシムルニ適スルモノト謂フベシ○是等銀行ノ實施舉行ノ方法ニ至テハ此編ノ第二

大正十一年四月
天正
限
便
壽
郎
寄
贈
山

章即テ富ノ流通ト名ケタル部分ニ於テ詳カニ之レガ説明
ヲナスベシ

第二 鐵道

白耳義ノ如キ國ニ於テ鐵道ハ之ヲ政府ノ所有物ト
シ而シテ其事務モ亦政府ニ於テ取扱ヘリ○日耳曼モ亦彼
是時度シテ後チ右同様ノ制ヲ施行セリ是レハ軍事ノ方畧
ニ出デタルモノト信セラレタリ○鐵道特許ノ制行ハルハ
其ニ於テハ^{競争}競争ヲ禁制セリ然レ其特許ヲ得シガ為メニ相
競フテ先ヲ争フハ妨ケ無シトセリ○最モ多ク共同ノ利益
トナルベキ事業ヲ目論見ル會社ニ撰擇ヲ與エルトモ
然リト雖モ一度此特許ヲ附与セラレタル會社アルハ其
目的ヲ以テ他ノ會社ヲ設立スベカラザルハ言フニ及バス
又何人タリトモ同地方ニ於テ營業スルコトヲ許サザルナリ
此特許ハ共同ノ利益ノ外各人一己ノ利益ヲ營ム為メニハ

附与セザルモノトス

會社ノ未タ獨占權ヲ得ルヤ否ヤノ確定セザル間ハ起業ノ
為メニ要ラレタル大ナル動作若シハ廣大ナル物品及ヒ
資本ガラ装置スベカラザルナリ○私有物ヲ擲テ公有物ト
ナスコトハ大ニ必要ナルコトナリ然リト雖若シ之ヲ屢ルルハ
ハ大ニ國ノ難渋トナレリ例ヘバ各都府ノ間敷線ニ依テ相
連結シタル片又或ハ國境ト國境トノ間ニ右ノ如キ連結布
置セラレタル片ノ如キ是レナリ
會社ノ利潤ヲ得ルコトハ僅少ナリト雖モ大ニ共同ノ利益ト
ナルハ會社ヲシテ更ニ小サキ枝線ヲ建設セシムルヲ行
為アラシムルハ通常ノ事ナリ

第三

巴理ニ於テ^{公同便運}公同便運ノ會社^{客馬車}客馬車ハ前條同様ノ獨占權
ヲ有テリ○然リト雖モ其貨錢ハ地方廳ニ於テ之ヲ取極メ

官府ノ允准無クシテ會社ニ於テ恣ニ之ヲ取立ツルヲ禁
ゼラレタリ○右ノ代リニ會社ノ費用ハ一層多クシテ利潤
ハ一層少ナシト虽氏新クニ線路ヲ開クヲ命ゼラル、一
アルベシ

第四 鑛山 鑛山ノ營業モ亦獨占權ヲ余既ニ「財産ノ權理ヲ制
限スルモノ、一トシテ之ヲ説明スル所ノ他ノ部分ニ於テ
之ヲ記載シタリ」然リト虽氏 訟案ノ利益ト鑛山營業者
ニ適當セル保護トハ充分ニ普通權理ノ制限タルヲ辨明
セリ

第三 平人ノ享有セル獨占權
第一 右ニ説ク所ノ平人ノ享有セルモノ、中ニ在テ補條理無
キハ佛國ニ於テ所謂「オ。フ。サ。ス。メ。ニ。ス。ク。リ。ル。ス。」(録事訟師郡官
西替屋ノ管事)ノ諸人ニ屬シタル特權ナリ○右ノ人々ノ

勢ト仲入トハ時トシテ平人ノ義務トナリ之レガ為メニ非
常ニ不便ヲ蒙ルヲアリ○右ノ事柄ノ日本ニ誘導セラレハ
其ハ惡クベキナリトス

第二 發明ノ專賣免許ハ真ニ一己ノ獨占權ヲ組成セリトス然
リト虽氏決シテ條理ナキモノニハ非ザルナリ○專賣免許
ノ永續スル所以ハ單ニ特別ナル條例ノ德ニ依リトス然
レ氏其永續シタルノ例ハ予ノ知ラザルナリ
專賣免許ハ永世不朽ニスベキモノニ非ルナリ何トナレバ
諸發明人ハ常ニ衆人ニ先ニシテ之ヲ附与セラレ各々獨占ニ
創製ノ為メニ費ヤシタル所ノ勞力ニ應ヒテ十分其價直ヲ
恢復スルノ利ヲ得ルアラシテナリ○又「發明人ハ其製造
物ヲ格外ノ高價ニ賣捌クナル可シ」トノ恐レヲ抱クヲ勿レ
何トナレバ若シ格外ノ高價ニ賣捌クハ身親カラ災害ヲ

招キ世人ハ必ス夫ノ創製物ヨリ寧口在来ノ製造物ヲ好ム
ベキヲ以テナリ

第三

製造物ノ獨占權是レハ工匠ノ財産ニシテ專賣免許ヨリ更

ニ長ク永續セシムル所ノモノナリ何トナレバ之レガ為テ

ニ社會ノ損害ヲ蒙ムルト無キヲ以テナリ何トナレバ(例ハ

バ椅子其外諸道具ニ用ユル所ノ織物ノ編ヲ如キ)假令ニ特

第四

特別ノ編ヲ用ヒザルモ聊カ事ニ差支無クレバナリ

高業若シクハ製造ノ記號ハ永世其所有主ノ財産ナリ而

シテ是レ其實ニ注財者ノ印章ノ一種ナリ

佛國ニ於テ之ヲ廢スルノ議久シク行ハレタリ然リトモ此

居多ノ賠償金ヲ拂ハザレバ之ヲ廢スル能ハザルヲ以テノ

故ニ此ノ改革ハ未タ之ヲ棄テ置カレタリ○此獨占權ノ起

元ハ千八百十六年ニシテ會計上ニ困難ヲ生シタリノ時ニ

在リ○該國ノ政府資財ヲ得シガ為メニ是オ職業ノ人ハ甚

ク重キ賦金ヲ課シタリ而シテ其代ハリニ是オ職業人ハ其

職業ヲ續ク所ノ人ヲ拒ツノ權理アル獨占權ヲ附与セラレ

タリ是レ其實其職業ヲ賣リタル所ノ權理ナリ○方今右等

ハ職業ヲ持ツ所ノ人々ハ之ヲ購ヒ得タルモノニシテ中ニ

ハ高價ヲ拂フタルモノアリ故ニ是等ノ人ハ賠償金ヲ得ル

ニ非レバ之ヲ手放シセザルナリ

日本ニテモ右同種ノ職業ヲ誘導スルノ要用ナルト起ルナ

ルベシ然レ政府ニ於テ停業ノ權理ヲ以テ之ヲ申付ケザル

可ラザルナリ

若夫レ訟師ハ獨占權アルモノニ非スト知ルベシ何トナレ

バ各人誰ニテモ上達サハスレバ此職業ヲ行フヲ許サレ

テ可ナレバナリ而シテ其人復ニ限リアルト無カレベシ○

自由ニ停業セシムルノ權ヲ政府ニ收メルノ謂

成省

右ノ規則ハ醫業ニモ適用セラレ、ナリ○是ハ職業ノ然ル
ベキ規約ヲ奉スベキ本分アルト又政府ヨリシテ之レニ然
ルベキ支配ヲ興フルトアルト以テ獨占權ヲ組成スベキ
モノトハ謂フ可ラザルナリ

ボアソナード氏講義第十七回 九年三月廿七日

余ハ前回ニ於テカ役ノ生財力ニ於ケル第一ノ事狀ト思考セラ
レタルカ役ノ自由ノ音趣ヲ陳述レタリ
余ハ嚮キニカ役ノ自由ガニリノ妨碍物ニ出會シタルハ載セ
テ恭西岡化史ニ在ルヲ諸君ニ告ケタリ即チ奴隸是レハ後ヲ
一至テ主從ノ設立ヲナセシ所ノモノ并所謂特許ヲ得タル會社
ノ自由權トモ稱スベキモノ是レナリ○第一類ニ於テハカ役ハ
已ムヲ得ザルト強迫トニ出テタリ第二類ニ於テハ妨害ヲ受ケタ
ルナリ是皆一國ノ富ヲ發達スルニ利アルモノニ非ザルナリ
余ハ此論說ヲ完結センガ為ニ須ラクカ役ノ自由ノ經濟上ニ
於ケル關係并就中會社ノ特許ヲ禁止スベキ所ノ効驗ヲ諸君ニ
陳述セスンバヤルベカラザルナリ其結果ハ競争是レナリ
余ハ此後ニ於テ政府并人民ノ獨占權ヲ陳述セントス此獨占權

ナルモノハ尚又大役ノ自由ヲ箝制スル所ノモノナリ
競争ノ自由ハ激烈ナル及對者ヲ持テタリ而シテ余ハ今ヨリ後最
早此及對者無シト云フヲ保タスト虽氏之ヲ非難スルニ於テハ
何ノ難キカ之レ有ランヤ
既ニ此前ノ百年紀中ニ於テ會社ノ制ニ就テ「モンテスキュー」氏ノ
言ハルアリ云ク競争ハ工藝ノ精神并激勵者ナリト
競争トハ同一ノ事業ヲ衆人ニテ經營スルヲ云フナリ
苟モ如此クナルハ則テ是等諸人各々其目的ヲ達スルヲ能ハ
サルベシ然リト虽氏善ク支配ノ行届キタル社會ニ於テハ何人
タリトモ各々他人ト競争スルヲ許サレタリ是レ原ト當然ノ
事ナリ

夫レ平等ハ自由ナリ然レ人皆平等ノ利用ヲ以テ力役ノ競争ヲ
為スモノニ非ザルナリ何トナレバ身体并心神ノ力ハ衆人皆齊
シキモノニ非ラス又健康并才智モ亦同一ナルモノニ非ザルヲ
以テナリ

然リト虽氏是等利用ニ於ケル差違ハ當然ニシテ一ハ天賦ノ然
ラシムル所一ハ各人力行ノ結果ナリトス○是等ノ場合ニ於テ
ハ何レモ不當ナルト無キナリ

健康ハ多ク身持ニ依テ保持セラル、モノニシテ才智ハ學問ニ
レ既ニ一ノ力役ト同新無キ力行トニ依テ發達セラル、モノナ
リ

爰ニ富實ニシテ且ツ財本アルノ甲アリ他ノ之レ無キ乙ト競争
スルハ則テ甲ハ乙ノ得ザル大ナル利益ヲ得ルヤ必セリ然リ
ト虽氏此事ヤ恰モ健康并才智ノ場合ニ於ケルガ如クサレモ不
當ナルト無カルベシ何トナレバ此利益ハ他人ヨリ奪掠シテ得
タル所ニ非ザレハナリ

此幸福タルヤ或ハ往昔ノ力役ニ依テ之ヲ得ルニ非ザレバ則テ
或ハ吾人ノ親戚ノ力役ヨリ生シタル所ノ結果ナリトス
是レ猶ホ吾人ノ父母ノ懶惰若シクハ不注意ナルニ依テ不幸ノ
結果ヲ受クルモ同一ノ譯ニテ父母ノ功德若シクハ成績ニ依テ
利益ヲ受クルハ當然ノ事ナリトス

父母ノ幸福中最モ大ナル利益ノ一ハ其兒子ノ幼稚ナル時ニ指
テ充分之レニ教育ヲ与ヘタルコトナリ何トナレバ爰ニ二人ノ競
争者アリ其一人ハ充分ニ教育ヲ受ケタルモノニシテ今一人ハ
無学ナリ此時ニ當テハ工藝ノ競争ハ必ス一様ニハアラザレハ
シ而テ教育ヲ受ケタル人ノ利益ハ無学人ノ利益ニ優ルハ論ヲ
待タザルナリ

方今ノ社會ハ此ニ鑑ミル所ナリテ夙トニ貧窮ニシテ才智アル
少年ニ大ナル教育ノ便ヲ与フルコトニ着手セリ○此事ニ就テハ

方今ノ社會ハ往昔ノ社會ニ優ルコト教等ナリト謂フベシ
余が見ル所ニ依レバ日本ハ此事ニ就テハ最モ隆盛ノ域ニ進入
シタルガ如シ

或レ論者ハ教育ハ父母ノ惡意ニ拘ハラヌ又誰役ノ異同無ク一
般之ヲ受クルニ聊カ差支無カラシメ且ツ之ヲ強迫スルニ在リ
ト云フコトヲ要求シタリ○此問題ハ先ツ暫ク之ヲ余輩ノ思考

外ニ置テ可ナリ爰ニ工藝并高賣上ノ競争ヲ講究セン
凡ソ利益ハ各力役者ノ動作ノ注意并勉勵ノ鼓舞トナルモノナリ
競争ハ有用ナル發明并新シキ作法ヲ起ラシムルモノナリ
是レハ都テノ消費人并造出人ニ利益スル所ナリ畢竟消費人ハ
一層善良ニシテ且ツ廉價ナル造出品ヲ受領スルニ至レバナリ
競争ハ未ク必シモ方畧若シクハ新發明ノ助ケ無クトモ夫レノ
ミニテ既ニ力役并勤勞ノ廉價ヲ生シ隨テ造出品ノ價ヲ廉ニス

ルニ足ルモノナリ

右ノ如クナルキハ則テカ役者ノ利益ニ於テ果シテ如何ノ恐レ
アリト虽凡只此ノ問題ノ一邊ニシテ偏倚レテハ之ヲ裁決スベ
カラザルモノアリテ余輩ハ必ス其全邊ヲ檢察セズンバアルベ
カラス例ヘバ爰ニ一事業ニ於テ百人ノ競争者アルキハ五十人
ノ競争者アルキヨリモ其得ル所ノ利益ハ一層少ナカルベシ若
シ此競争者日傭稼キ、カ役人ナラバ其賃銀ハ一層少ナカルベ
ク若シ之レガ主人(即テ使役人)ナラバ其利益ハ一層少ナカルベ
キト毫モ疑無カルベシ然リト虽凡「経済学ナルモノハ社會中此レ
ノ黨僭又ハ彼レ、黨僭ト一方ニ偏倚シテ之ヲ富マヌノ方法ヲ
例ヘバカ役者ト一ノ黨僭ノミヲ富マシ故テ他ノ一人ノ遺
コス等ノ類ニ非ザル」トラ記憶セズンバアルベカラザルナリ蓋
シ「経済学ハ世上一般ノ便利ト僅ニ數人ニ非スシテ衆人普遍ノ

富トヲ講求シテ盛大ナクシムモノナリ

是レ其故他ニ非ス即テ百人ノカ役者若シクハ使役人ガ一同ニ
賃銀若シクハ利益ヲ得ルトハ假令ニ僅サナルニセヨ之ヲ其一
半ノ人数ガ高キ賃銀若シクハ大ナル利益ヲ得而テ他ノ一半ハ
カ役無ク且ツ随テ賃銀若シクハ利益無キモノニ比スレバ其益
タル大ナレバナリ
各人一般適宜ノ地位ニ在ル之ヲ僅々數人ノ餘り潤澤ニ過キ且
ツ其他ノ人貧苦ニ迫ルモノアルニ比スレバ豈ニ善カラヌヤ
今一ツ外ニ競争ノ益アリ即テ造出品ノ廉價ナルト是レナリ是
レ既ニ消費人ノ為メニ造出品ヲ得ルノ困難ヲ減少シ又同業カ
役人ラシテ競争ニ依テ減セラレタル賃銀ノ補償ヲ取ラシムル
ノ資ヲ与フルナリ
造出品ノ廉價ハ其消費ヲ増加スルモノナルハ常ニ實見スル所

ニシテ復々一奇事ト謂フベシ是レ他無シ是等造出品ノ廉價ニ
至ラザリシ以前ハ獨リ若子ノ財産家ニ限り之ヲ需要セシガ今
ハ一層貧困ナル消費人ト雖氏之ヲ需要スルニ至レルヲ以テナ
リ○如此ク需要ノ増加スルヨリシテ力役人ニ新シキ職業ヲ与
ヘ賃銀并利益ハ前日ヨリモ増加スルナリ○然リト雖モ之レガ為
メニ其消費前日ノ形状ヨリモ衰頹スルハ無カルベシ何トナ
レバ其愉快便利ハ自カラ慣習トナリ且ク容易ニ其願要ヲ廢棄
スルヲ能ハザルニ至ルヲ以テナリ○故ニ何人ニ限ラズ其真ノ
願要トナリシ所ノモノヨリ我ガ身ヲ奪去ラレザランガ為メニ
一層職業ニ勉勵スルニ至ルベシ
右ノ事實ハ人口多キ土地ニハ絶ヘス經驗アルトニシテ夫ノ人
口多キ土地ニテハ實ニ力役ノ諸業ニ於テ競争ヲナスト大ナリ
トス是故ニ其賃銀ハ他ノ場所ヨリモ一層低價ナラザルヲ得

サルガ如シト雖氏之レニ及シテ一層高價ナリトス何トナレバ
消費人衆多ニシテ貧困ナル黨輩中ニ在テモ其消費スル所鮮サ
ナラザレバナリ
曾テ競争ヲ非難スルノ説起リシトアレ氏之ヲ論斥スルニ於テハ
何ノ難キカ之レ有ラン其説ニ曰ク競争ハ造出品ノ分量并品位
及ニ他ヲ排シテ安リニ人望ヲ得ルノ方法ニ就テ奸計ヲ生スベ
シト
右ハ第一ニ會社ノ旧制ニ復セントスルノ理ハ無カルベシ何トナ
レバ夫ノ旧制ノ行ハルニ時ニ在テハ政府ニ於テ始終機械ヲ破
却シ又ハ不正當ナル造出品ヲ燒却セシ等ノ事アリシヲ以テナ
今日ニ至テハ余輩自由ナル競争ヨリ生スル所ノ奸計ヲ處分ス
ルニ右ノ方法ヲ以テセザルナリ何トナレバ法律アリ以テ品位

并分量ノ作偽ヲ罰シ又不信ナル競争ノ名義ヲ以テ之ヲ罰シ具
製造ハ名目貼紙并記号ヲ取上グルヲ以テナリ
何レノ日ニ在テモ正直ハ復タ實ニ競争ノ方畧ニシテ夫ノ詐偽
并不正ヨリモ更ニ許多ノ利益ヲ興フルモノタルヤ必セリ

